

<b>PRUNUS</b>	YZF-R25/R3 MT-25/03スリップオンマフラー	適応機種
	組付・取扱説明書	YAMAHA YZF-R25(ABS 有/無)、 YZF-R3、MT-25、MT-03 (型式:EBL-RH07J、JBK-RG10J)

工数:0.5 h

この度は、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ・ 本書には、商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。
- ・ 本製品の取り付け、取り外しは、販売店もしくは整備業者などで行ってください。
- ・ 本書ならびに純正触媒使用証明書は、取り外した部品と一緒に保管してください。また、車両または本製品を譲渡される場合は、必ず本書ならびに純正触媒使用証明書も一緒にお渡してください。
- ・ 製品の品質には万全を期しておりますが、万が一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。なお、製品の仕様・価格・本書の内容について、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### ◆本製品の特徴◆

- ◎ 中低速重視のセッティングを施した、YZF-R25/R3、MT-25/03のいずれの車両にもフィットするデザイン。
- ◎ 車両のイメージに合わせた異形カーボンプロテクターを採用。

#### ⚠ 注意

- ◎ カーボンプロテクター及びPRUNUSロゴ部は、塗装が剥がれる可能性がありますので、有機溶剤(パーツクリーナー等)を使用しないで下さい。尚、汚れが付着した場合は中性洗剤を使用し、柔らかい布で拭いてください。

- ◆ YZF-R3ならびにMT-03に装着された場合、同梱されている「純正触媒使用証明書」を車検時に提出してください。

ご使用前に必ずお読みください

#### ⚠ 警告

- エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラー、エキゾーストパイプは非常に高温になっておりますので、絶対に触らないでください。火傷を負う可能性があります。各部が十分に冷えたことを確認した後、作業をしてください。
- 走行中に異常を感じたときは、直ちに安全な場所に停車して、異常箇所を点検してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- エンジン、排気系などに改造が施された場合、本製品本来の性能や機能が損なわれるだけでなく、思わぬ事故につながる可能性がありますので、絶対におやめください。

#### ⚠ 注意

- 適応機種以外には装着しないでください。また、本製品の分解、加工、改造はしないでください。故障の原因となります。
- 走行前に必ずバンク角の確認を行い、そのバンク角以上にバンクさせない様な走行を心掛けてください。オートバイが転倒したり、カーボンパーツ及びサイレンサーが破損する可能性があります。
- 取付け初期の頃に、煙や焦げるような匂いが発生することがあります。これは、消音材の薬品が焼けたり、塗装表面のシンナーなどが焼けたりするもので、異常ではありません。
- 汚れが付着した場合は、中性洗剤を使用し、やわらかい布で拭いて下さい。有機溶剤(パーツクリーナー等)を使用するとカーボン部のコーティングや本体及びPRUNUSロゴの塗装が剥がれる恐れがあります。

◆販売店様へ

- ・ 本製品の、商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。
- ・ 本書および本品の取り付けに際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

構成部品

No.	部品名称	部品番号	数量
1	サイレンサー		1
2	M6ボルト(L=20mm)		2
3	M6ボルト(L=15mm)		1
4	調整用プレート		1
5	M6フランジ付きボルト(黒)		2
6	取扱説明書、純正触媒使用証明書		1

※部品番号が空欄のものは、補修部品の設定はありません。

- 本製品を装着される際には、ボルトには必ずネジ固着剤(ネジロック)を使用してください。

◆構成部品



**警告**

- ガソリンや燃えやすい物などの近くで作業しないでください。火災の原因となります。
- エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラー、エキゾーストパイプは非常に高温になっておりますので、絶対に触らないでください。火傷を負う可能性があります。各部が十分に冷えたことを確認した後、作業をしてください。

- ・ 構成部品が全て揃っていることを確認してください。
- ・ 構成部品以外の部品は、純正車の部品を再使用します。
- ・ 取り外した部品で再使用しない部品は、純正部品に戻す際に必要になりますので、大切に保管してください。

## 組み付け方法

### 警告

- 平坦な場所で、車両が倒れないように固定してから作業を始めてください。
- エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラー、エキゾーストパイプは非常に高温になっておりますので、絶対に触らないでください。火傷を負う可能性があります。各部が十分に冷えたことを確認した後、作業をしてください。

### 【取り付け方法】

- 1 純正サイレンサー、取り付けボルトを緩める(1箇所)
- 2 チャンバー部に装着されている三角形の樹脂プロテクターを取り外す(3箇所)
- 3 純正サイレンサーのジョイント部のバンドを緩める
- 4 純正サイレンサー取り付けボルトを取り外し、純正サイレンサーを取り外す

#### 5-1 ①サイレンサーをチャンバーに差し込む

純正プロテクター取り付け部と、サイレンサーステーの穴の位置を合わせる

…【取付詳細図①参照】

#### △ 注意

- ・ 純正プロテクター取り付けステーが、車体により穴の位置がずれている場合があります。その場合は、純正プロテクター取り付けステーをゆるめ、位置を調整して取付けてください
- ・ 純正プロテクター取り付けステーをゆるめた場合は、必ずネジロックを再度塗布した上で取付けてください

**【規定トルク：10Nm(1.0Kgfm)】**

### ★ 5-1の方法で取付かない場合

・車体の誤差などで製品が取り付けにくい事がありますので、その際は④調整用プレートを使用して取付けてください。

…【取付詳細図②参照】

- 6 プロテクターステーにネジロックを入れた後、純正プロテクターと①サイレンサーを②M6ボルト(後側2箇所に使用)と③M6ボルト(前側に使用)を使用し、仮止めする

…【取付詳細図③参照】

- 7 ②及び③のM6ボルトを本締めする **【規定トルク：10Nm(1.0Kgfm)】**
- 8 エキゾーストパイプ及びサイレンサーに付いた油分等の汚れを拭き取ってからエンジンを始動する  
※汚れが付着したままエンジンを始動すると焼けムラが発生します  
※エンジン始動後しばらくは、ウールや油分、塗料のシンナーなどが焼ける際に白煙が出る場合がありますが、異常ではありません

#### △ 注意

- ・ 油分などの汚れを落とす際には、中性洗剤を使用し、柔らかい布で拭きとってください。  
有機溶剤(パーツクリーナー等)や、研磨材の含まれるケミカルやスコッチなどで磨くと、カーボン部のコーティングや本体及びPRUNUSロゴの塗装が剥がれる恐れがあります。

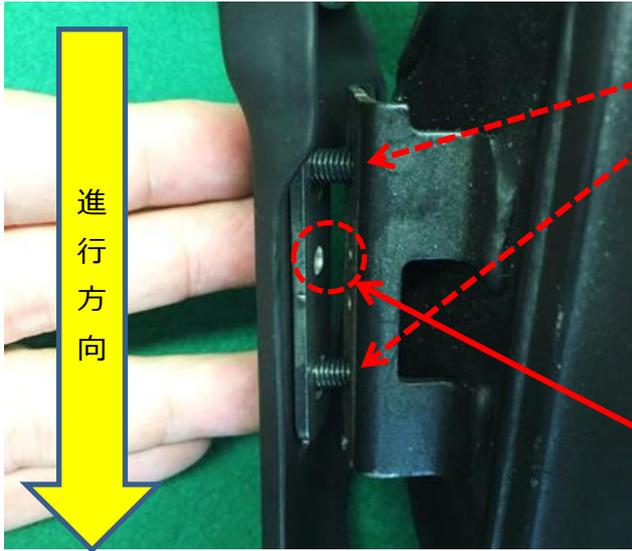
【取付詳細図①】

	<p>(取り付け部 拡大)</p>	<p>・純正プロテクター取り付けステーの上に、サイレンサーから出ているステーを乗せる様にして取り付けてください。</p>
<p>(上部 穴位置)</p>	<p>(下部 穴位置)</p>	

【取付詳細図②】

<p>1</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 印のボルトを外して、純正プロテクター取り付けステー(以降、プロテクターステー)を外します</li> <li>● 印のボルトは使用しませんので、純正部品に戻す時まで大切に保管してください。</li> </ul>
<p>2</p>		<p>・取り外した、プロテクターステーの裏側に④調整用プレートを入れ、⑤M6フランジ付きボルト(黒)を差し込みます</p>
<p>※写真は、プロテクターステーを裏側から見た状態です。</p>		<p><b>⚠ 注意</b></p> <p>・丸穴は、進行方向に対して、後方に来る様にセットしてください</p>
		<p>(次ページに進みます)</p>

(前ページからの続き)



 ボルトを挿入する前に、ネジ孔部にネジロックを一滴ずつ入れてください

・④調整用プレートが落ちない様に注意しながら、プロテクターステーをチャンバーに仮付けします。

・この時は、まだ本締めをせず、プロテクターステーが多少ガタつく程度に、軽く締めこむ様にしてください

**⚠ 注意**

・丸穴は、進行方向に対して、後方に来る様にセットしてください

3



・①サイレンサーをチャンバーに差し込み、②M6ボルト(L=20)を使用して、プロテクターステーに仮止めします。

この仮止めは、ステー裏側に出てくるネジが、2~3山ほど出ている状態で結構です。

**⚠ 注意**

・純正プロテクターを車体から取り外した時に使用されていたボルトは使用せず、必ず本製品に同梱されている②M6ボルト(L=20)を使用してください。

4

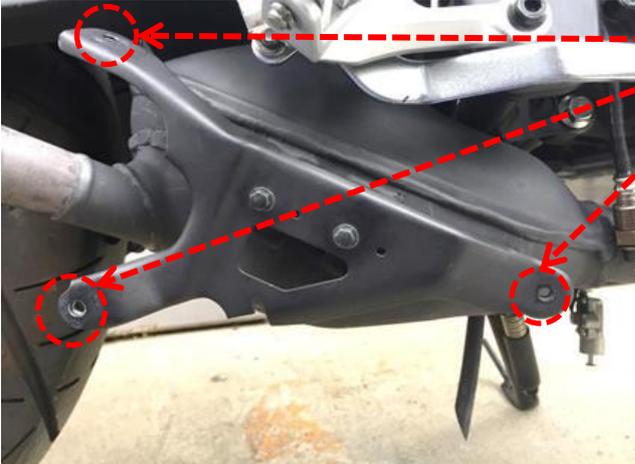


・①サイレンサーを仮止めしたままの状態で、プロテクターステーの前側のボルトを本締めします

**[規定トルク : 10Nm(1.0Kgf·m)]**

<p>5</p>		<p>・①サイレンサーをチャンバーから抜き、プロテクターステー後側のボルトを本締めします</p> <p><b>[規定トルク : 10Nm(1.0Kgfm)]</b></p> <p><b>△ 注意</b></p> <p>・サイレンサーを装着したまま本締めすると、サイレンサーのカーボンカバーを破損する可能性があります。 必ずサイレンサーをチャンバーから外してから、本締めしてください</p>
----------	---	--

【取付詳細図③】

<p>1</p>		<p> ボルトを挿入する前に、ネジ孔部にネジロックを一滴ずつ入れてください</p>
<p>2</p>		<p>・①サイレンサーを、チャンバーに差し込みます。</p>

<p>3</p>		<p>・純正プロテクターを上重ね、③M6ボルト(L=15)を使用して、純正プロテクターの前側を仮止めします。</p> <p><b>△ 注意</b></p> <p>・②と③のM6ボルトは、長さが異なりますので、必ず確認の上、③M6ボルト(L=15)を使用してください。</p>
<p>4</p>		<p>・サイレンサー下側を先に、②M6ボルト(L=20)を使用して、仮止めします。</p>
<p>5</p>		<p>・サイレンサー上側を、②M6ボルト(L=20)を使用して、仮止めします。</p>

6



・②及び③のM6ボルトを本締めします。  
[規定トルク：10Nm(1.0Kgfm)]

## 取扱上のご注意

### 警告

- 組み付け後と走行前に、各部に緩みやガタつきがないか確認し、定期的にボルトやナットの増締めをしてください。また、マフラーと車体各部が干渉していないかを確認してください。走行中に部品が緩んだり外れたりすると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 走行中に異常を感じたときは、直ちに安全な場所に停車して異常箇所を点検してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

### 注意

- 洗車の際は、マフラーの中に水を入れないでください。マフラーの中に水がたまると始動不良やサビの発生などの原因になります。

### ● 製造元

**サクラ工業株式会社**

静岡県浜松市東区半田町18番地

### ● 販売元 商品に関するお問い合わせ

ゴーワイズ

**0570-050814**

**株式会社ワイズギア**

オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）

9：00～12：00 13：00～17：30

○一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます

◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

〒432-8058 静岡県浜松市南区新橋町1103番地

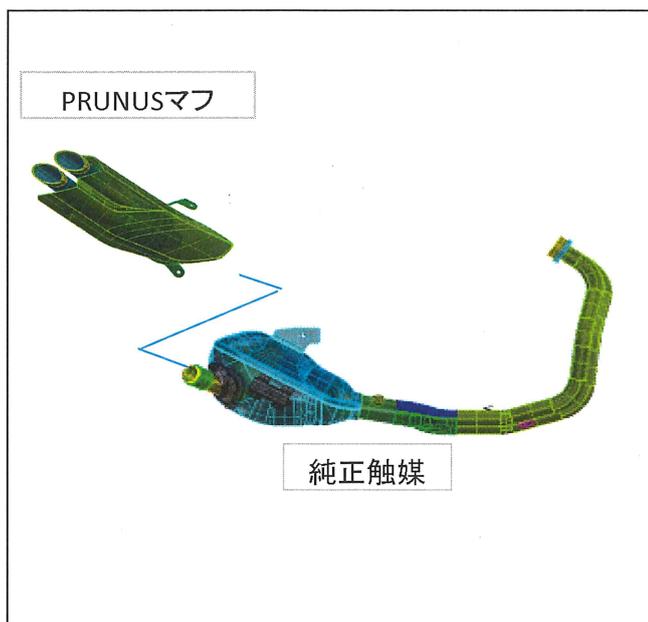
サクラ工業株式会社

このマフラーは平成11年、19年排出ガス規制に該当していますが、純正マフラー内の排出ガス発散防止装置(触媒)は取り外さず、触媒装置以降の交換となっています。そのため、問題なく車検を受けることができます。

車検時に触媒装置の有無について確認を受ける場合がありますので、受験の際は必ずこの確認書を持参してください。

自動車車名・型式	YZF-R3/MT-03 EBL-RH07J
マフラーメーカー名	サクラ工業株式会社
マフラー名称	プラナス MT25/03 スリップオンマフラー
マフラーJMCA認定番号	JMCA1015079021

構成図



純正触媒

純正触媒の装着位置



製品と純正触媒の取付写真



一般社団法人  
 全国二輪車用品連合会  
 東京都港区赤坂2-19-5-2F  
 TEL: 03-5545-7220  
 FAX: 03-5545-0038